

「高等教育段階における教養教育について」

中嶋 嶺雄

1 「新しい時代における教養教育の在り方について（審議のまとめ）」

(H 1 2 ・ 1 2 ・ 2 5)

- \* 文系の知と理系の知の融合（地球環境問題、生命倫理などの諸問題）
- \* 学際的な新しい学問領域を開拓
  
- \* 部活動、サークル活動、ボランティア活動——チャレンジ精神

2 総会・分科会の主な意見

- \* 「教養とは、人が身に付けてほしい、知識ではない部分」
- \* 「今の社会の中で評価される能力は、……知識部分だけである」
  
- \* 「旧制中学時代の人に比べ古典を読んでいない」
- \* 「西洋には、……読むべき古典が明確化されている例がある」
- \* 「古典を学ぶ大切さをキャンペーンすべき」
  
- \* 「情操教育、芸術教育をもう少し強調してもよい。英語教育にも共通するが、子どもの可能性を早くから開発することが必要」
  
- \* 「教養教育の基本として外国語、特に国際語としての英語と異文化への適応性の2点が必要」

3 知識と思考力としての教養

- \* トーマス・カーライル『サーター・リザータス (S a r t o r R e s a r t u s)』（衣裳哲学／衣服の哲学／仕立て直された裁縫師）

#### 4 学際性と専門性

- \* 国際関係論と政治学
- \* 教養としての外国語と異文化理解
- \* 国際社会学への誘い

#### 5 「英語指導方法等改善の推進に関する懇談会」報告（H13・1・19）

#### 6 教養としての情操教育――音楽教育と幼児教育

- \* 才能教育運動と鈴木鎮一「どの子どもも育つ、育て方一つ」
- \* 映画Music of the heart（ロベルタ・ガスパーリ原作、ウェス・クレイヴン監督、メリル・ストリープ主演）

國分委員  
鳥居分科会長  
木村委員

	○	○	○	
坂村委員	○		○	御手洗文部科学 審議官
田村委員	○		○	<del>結城</del> 官房長
永井委員	○		○	<del>近藤</del> 生涯学習政策局長
藤原委員	○		○	寺本 生涯学習政策局 審議官
船津委員	○		○	<del>三浦</del> 高等教育局 審議官 <small>清水</small>
茂木委員	○		○	樋口 政策課長
横山委員 (英)	○		○	
		○	○	

○ 学生課長  
○ 義本企画官  
○  
○  
○  
○  
○ 速記者

寺島委員  
中嶋委員

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_